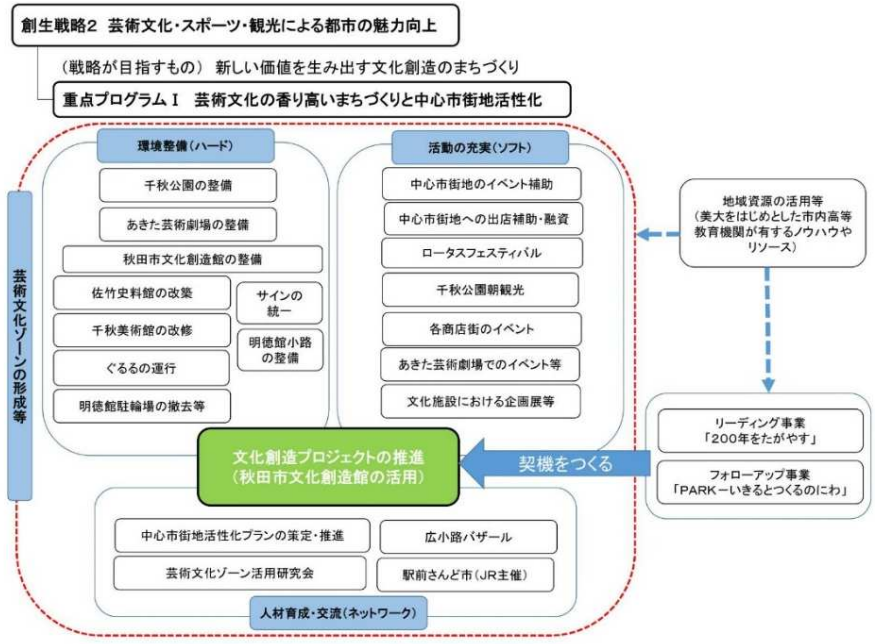
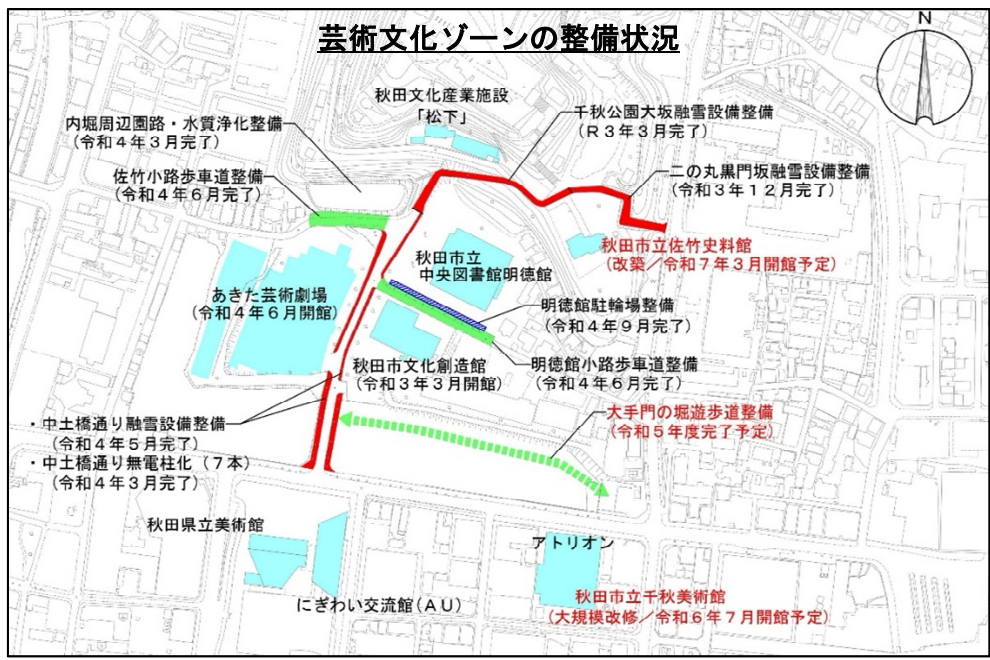


# 観光料飲部会長報告

1. 会議名 第2回部会総会（オープン部会）
2. 日時 2022年11月21日（月）16：00～17：30
3. 場所 ホテルメトロポリタン秋田 3階 ジュエル
4. 出席者 41名（当部会員21名）
5. 懇談 **「芸術文化ゾーンのさらなる充実について」**  
秋田市企画財政部企画調整課 課長 小杉山 英克 氏  
**「佐竹史料館の改築事業について」**  
秋田市立佐竹史料館 事務長 伊藤 武士 氏  
**「千秋公園大手門の堀遊歩道整備について」**（事務局）
6. 協議 ・任期満了に伴う正副部会長の選任について

# (1) 芸術文化ゾーンのさらなる充実に向けて

- ・ **芸術文化ゾーンの中核を担うあきた芸術劇場ミルハス**の開館を契機に、千秋公園や秋田市文化創造館等との相乗効果や民間事業者との連携により、**新たなまちの魅力とにぎわいを創出**する。
- ・ 文化を切り口として、市民協働によるまちづくりが日常的に行われる **「文化創造のまち」の実現**を目指す。
- ・ その取組である **「文化創造プロジェクト」**では、市民の主体的な活動を誘発し、芸術文化ゾーンにおける**市民活動の見える化**を図るとともに活動場所をまちなかに広げるなど、**市民に開かれた機会を創出**する。



【参考】秋田市企画調整課提供資料

## (2) 佐竹史料館の改築事業について

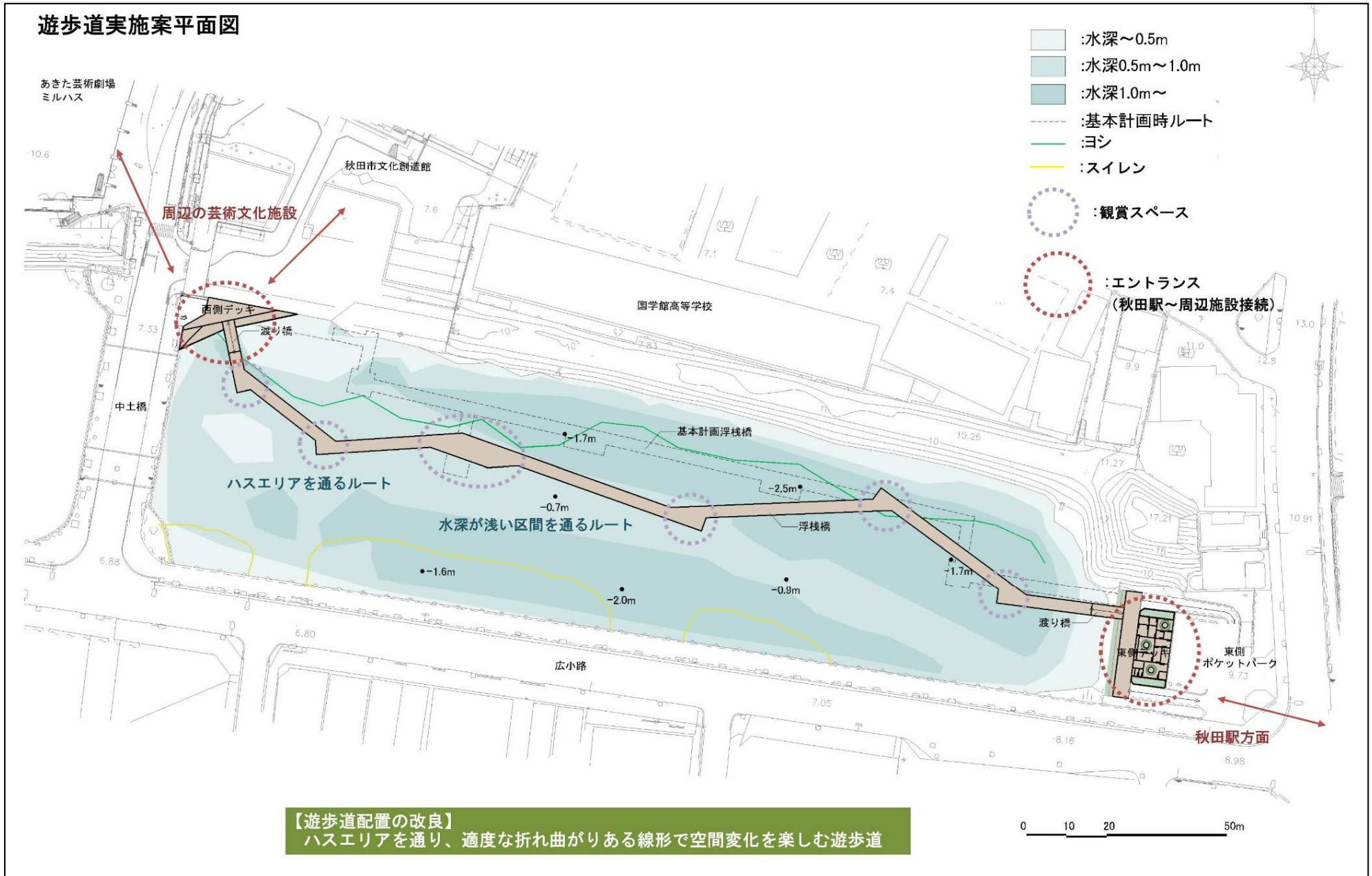
- ・ **全面改築（現在の約4倍に拡張）** し、展示施設の充実を図るとともに、**新たにAR・VRや映像ジオラマなど最新技術を導入・活用**することで**魅力ある企画展などを開催**する。
- ・ 改築を機に、**久保田城御隅櫓、御物頭御番所を一体とした千秋公園全体のさらなる歴史的魅力の向上**を図る。
- ・ **2022年7月より2025年2月まで休館**し、休館中は展示準備作業のほか、**佐竹氏の魅力発信事業として中心市街地で講座や出張展示**などを行い、**開館に向け積極的な情報発信**を行う。



【参考】佐竹史料館改築基本計画（令和4年3月・秋田市）

# (3) 千秋公園大手門の堀遊歩道整備について

- 来年度予定されている遊歩道整備について情報提供



【参考】千秋公園大手門の堀 遊歩道実施案 (平面図)

## (4) 質疑応答

- **ミルハス開館後、周辺駐車場では混雑が多く見られる。今後、遊歩道や佐竹史料館等の整備が進むことで更なる混雑が予想されるが、どう考えているのか？**
- **芸術文化ゾーンで新たに駐車場が整備されたのはミルハス約200台だが、ゾーン全体（半径500m圏内）では約2,000台となるため、今後は周辺の民間駐車場の活用を促していきたい。また、周辺駐車場の使用状況や繁閑期の状況の調査と公共交通機関の推奨や歩きたくなるまちづくりも進めていきたい。**　　《小杉山課長》
- **中央署付近の県所有地や大手門通りの児童遊園地の活用、木内百貨店への対応についても検討してはどうか。**
- **県所有地は、ミルハスを整備する際に検討したが、関係者との調整が上手くいかなかった。児童遊園地は、千秋公園再整備基本計画で位置を移動し駐車場に活用する方向で計画しており、大手門通りから上る遊歩道を整備する予算を今年度計上している。また、中心市街地の未使用の土地については、中活協議会や市議会でも意見をいただいております、地権者との交渉を含めて民間事業者と協力しながら進めていきたい。**　　《小杉山課長》

## (4) 質疑応答

- **千秋公園周辺を一周する循環バス**があると、**駐車場の問題解消**につながるほか、高齢者でも千秋公園への上り下りが楽になるなど、利便性が良いと思う。
- **大坂は安全性の観点からバスの運行が難しい**との回答を得ていたが、千秋公園のポイント間にバスの乗降場所を設置することは、今後必要となる視点だと思うので**交通政策や千秋公園再整備基本計画のなかで検討**したい。      «小杉山課長»

## 協議 任期満了に伴う正副部会長に選任について

松村 讓裕 氏（株）ユーランドホテル八橋・代表取締役）を部会長に再任したほか、  
1 3名を副部会長に選任した。